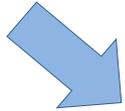


福井県都デザイン戦略展開に向けて

～小さな工夫を徹底する～

☆事例：復元された舎人門周辺の景観演出
徹底できていない。
郷土歴史博物館と駐車場の景観が
台無しにしている。



主役(舎人門)をいかした景観演出の徹底調整を

県都デザイン懇話会委員

国吉直行

(都市デザイナー・横浜市立大)

福井城郭と現在の市街地の重ね図

参考資料



凡例

| | |
|---|--------|
| ▲ | 櫓 |
| ■ | 最大規模の門 |
| ■ | 主要な門 |
| ■ | 中規模の門 |
| ■ | 小規模の門 |

・ 福井城には、10の櫓と40を超える御門が存在

出典：福井城史料調査委員会報告書 (H25. 3)





福井城の北方を守る「舎人門」



みなさんの目の前に立っている門が「舎人門」です。福井城の外堀そとほりに設けられた門の一つです。

「舎人門」という名は江戸時代の終り頃（19世紀中頃）の様子を描いた福井城下絵図じょうかえずにでてくる名称で、ほかにも「清兵衛町見附御門」せいへえちようみつけごもん「江戸町口御門」えどまちぐちごもん「御泉水裏御門」おせんすいうらごもんなどと呼ばれていたようです。

「舎人門」はいろいろな検討の結果、木造瓦葺もくそうかわらぶきの高麗門形式こうらいもんで復原しました。同様の形式の門が大安禅寺たいあんぜんじなどに現存しています。その高さは約6m、幅は脇塀わきべいをあわせて約10m、屋根は出土遺物をモデルにして、当時越前で作られていた越前赤瓦えちぜんあかがわらを復原して葺ふきました。















自転車乗り入れ禁止
No bicycles

5-3 福原地区
福原地区の概要
福原地区の歴史
福原地区の文化
福原地区の自然
福原地区の産業
福原地区の交通
福原地区の教育
福原地区の医療
福原地区の福祉
福原地区の環境
福原地区の防災
福原地区のまちづくり







むかしの水道「芝原上水」

城下町のような大きな人の住む町には、上水の供給が必須不可欠です。城下町では、地下水を井戸で多く取りまわして飲み水に用きました。これらは「芝原上水」です。芝原上水は、城下町の人々の生活を支えてきました。今ここに遺っているのは、石製の水道の残骸です。この水道は、城下町の人々の生活を支えてきました。石製の水道の残骸です。この水道は、城下町の人々の生活を支えてきました。







武家屋敷と庭

この堀の跡より向こう側は武家屋敷地で、江戸時代の終り頃は、儀野さんと渋谷さんという武士の屋敷がありました。発掘調査によって、屋敷地内の水道や庭の池の跡、建物が立っていた礎石、ごみを捨てた穴などが見つかりました。たくさん出土品からは、裏に「儀野」と書かれた皿が見つかり、儀野さんの生活の一端がうかがえます。

儀野さんの庭には池がありました。この池は御泉水屋敷から流れてくる水を利用した池で、あふれた水は舎人門脇の暗渠を通過して堀に流れました。



「儀野」と書かれた皿が出土しました。

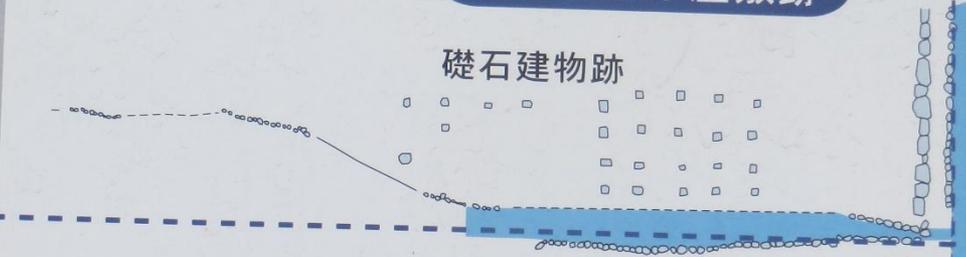


武家屋敷地の発掘調査平面図

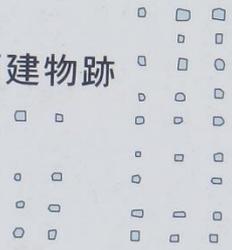


渋谷さんの屋敷跡

礎石建物跡

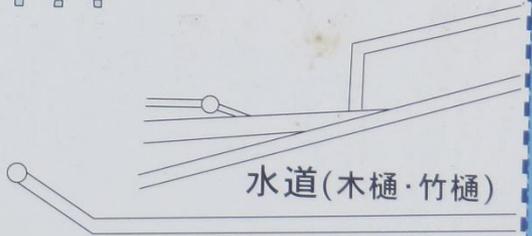


礎石建物跡



石組水路

水道(木樋・竹樋)



磯野さんの屋敷跡

石組水路

石組水路

池

現在地

道





















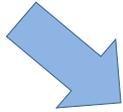








景観デザイン戦略へ



主役(全体としての見せ方のシナリオ)を
いかした
景観演出の徹底した調整を